

使用説明書

YMC-Pack FA

YMC-Pack CA

① はじめに

このたびは高速液体クロマトグラフィ用充填カラム YMC-Pack をご採用いただきありがとうございます。

YMC-Pack FA および CA はシリカゲルを基材とする逆相系のカルボン酸専用分析カラムです。このカラムは数種のカルボン酸標準品の分析から得られるクロマトグラム(分析キット使用説明書を参照下さい。)に基づき、それぞれのカルボン酸の保持時間が一定になるように厳格な品質管理を行い、安定した品質の製品をお客様にお届けしております。(検査成績書 COLUMN INSPECTION REPORT をご参照下さい。)お届けしましたカラムの性能を十分に発揮させ、永らくご使用いただくために本使用説明書をご一読のうえ、正しくご使用いただきますようお願いいたします。

② カラム接続タイプ

カラム接続タイプは製品番号末尾の「WT」で示されます。WT= ウォーターズタイプ

③ 出荷時封入溶媒

添付の検査成績書 COLUMN INSPECTION REPORT に示されています。カラムを長期間保存する場合にもこの溶媒で置換して下さい。

④ 溶離液

- アセトニトリル/メタノール/水、アセトニトリル/水などの混合溶媒を基本としますが、分析キット使用説明書に示された溶離液で分析されることを推奨します。
- 通液はカラムラベルに示された矢印の方向に行います。
- 溶離液の pH は通常 pH2.0 から 7.5 で使用可能ですが、pH4.0 から 5.0 の範囲でご使用になられることをお勧めします。
- pH 限界付近では 40%以上の有機溶媒を含む溶離液を使用して下さい。また、この pH 限界付近では、温度や溶離液組成などの条件によってカラム寿命が短くなる場合があります。
- 溶離液と混合すると不溶性物質が析出するような試料はカラムに注入できませんので試料の前処理には十分注意して下さい。

⑤ カラムの洗浄(一般的方)

- 初期とやや異なる溶出パターンが得られた場合、カラム内へのイオン性物質や高分子量の極性物質などの吸着が考えられます。この場合は、アセトニトリル/水 (90/10) (pH4.0 から 5.0 トリフルオロ酢酸(TFA)で調整)を通液して下さい。
- 非極性物質の吸着が考えられる場合は、テトラヒドロフラン(THF)などの溶解性の高い溶媒で洗浄して下さい。

⑥ その他の環境

- カラム圧力は 20 MPa 程度を上限の目安として下さい。
- 試料注入を繰り返すとカラム圧力が上昇する場合があります。試料はあらかじめ YMC Duo-Filter (0.2 μ m) などろ過して下さい。また、カラムフリットに目詰まりするような試料はプレカラムフィルタを使用して下さい。
- カラム温度は、50 $^{\circ}$ C を上限とし、通常は 20 $^{\circ}$ C から 40 $^{\circ}$ C の間で使用して下さい。

●製品に破損があった場合、ご注文の品と異なる製品が届いた場合には、製品到着後 2 週間以内にご連絡下さい。速やかに交換いたします。2 週間を過ぎた製品は良品受領とさせていただきます。